開講期間 / Course duration 2024/04/08~2024/09/29 必修選択 / Required / Elective	·目,大学院科目[構造],自由: 杉態/Course style	05810030
必修選択 / Required / Elective	eral /Transfer/Overseas) 番号 / Course code Seminar	图
上の修選択 / Required / Elective elective, optional (Gene 時間割コード / Time schedule code 20240581003026 科目番科目ナンバリングコード / Numbering code GEFY 15021_001 初年次セミナー (経済) / First-Year 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus 今仁 裕輔 / IMANI Yusuke 対象年次 / Intended year 1, 2, 3, 4 講義形教室 / Class room 学部問い合わせのこと 対象学生 (クラス等) / Intended year (class) 経済学部1年生 担当教員Eメールアドレス/E-mail address y_imani nagasaki-u.ac.jp (メールを達	eral /Transfer/Overseas) 番号 / Course code Seminar	图
科目ナンバリングコード / Numbering code 授業科目名 / Course title	· Seminar ·目,大学院科目[構造],自由: ·杉態 / Course style	選択科目/Elective Courses
授業科目名 / Course title 初年次セミナー(経済) / First-Year 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus 今仁 裕輔 / IMANI Yusuke 例如	·目,大学院科目[構造],自由: 杉態/Course style	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus 授業担当教員名(科目責任者)	·目,大学院科目[構造],自由: 杉態/Course style	
でのurse syllabus 授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s) 科目分類 / Course Category 対象年次 / Intended year 対象字生(クラス等) /Intended year (class) 担当教員Eメールアドレス/E-mail address	形態/Course style	
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s) 科目分類 / Course Category 対象年次 / Intended year 対象字(Class room 対象学生(クラス等) / Intended year (class) 担当教員Eメールアドレス/E-mail address タ仁 裕輔 / IMANI Yusuke 今仁 裕輔 / IMANI Yusuke 今仁 裕輔 / IMANI Yusuke 今仁 裕輔 / IMANI Yusuke ※	形態/Course style	
/ Instructor(s) 科目分類 / Course Category 教養ゼミナール科目,教養ゼミナール科 対象年次 / Intended year 1, 2, 3, 4 講義形 教室 / Class room 学部問い合わせのこと 対象学生(クラス等) / Intended year (class) 経済学部1年生 担当教員Eメールアドレス/E-mail address y_imani nagasaki-u.ac.jp(メールを追	形態/Course style	
科目分類 / Course Category 教養ゼミナール科目,教養ゼミナール科 対象年次 / Intended year 1, 2, 3, 4 講義形 教室 / Class room 学部問い合わせのこと 対象学生(クラス等) / Intended year (class) 経済学部1年生 担当教員Eメールアドレス/E-mail address y_imani nagasaki-u.ac.jp(メールを这	形態/Course style	
対象年次 / Intended year 1, 2, 3, 4 講義形教室 / Class room 学部問い合わせのこと 対象学生 (クラス等) / Intended year (class) 経済学部1年生担当教員Eメールアドレス/E-mail address y_imani nagasaki-u.ac.jp (メールを追	形態/Course style	
教室 / Class room学部問い合わせのこと対象学生(クラス等) /Intended year (class)経済学部1年生担当教員Eメールアドレス/E-mail addressy_imani nagasaki-u.ac.jp(メールを込	·	
対象学生(クラス等) /Intended year (class) 経済学部1年生 担当教員Eメールアドレス/E-mail address y_imani nagasaki-u.ac.jp(メールを迫		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address y_imani nagasaki-u.ac.jp (メールを这		
)_	美信する際は をのに置き換え	こてください)
担当教員研究室/Office 経済学部本館6階603号室		LC(/LCV1)
担当教員TEL/Tel		
担当教員オフィスアワー/Office hours 講義終了後及びメールで随時受け付ける。		
のオリエンテーション機能を果たすことで そのため、知的活動への動機づけを高め、 を通じて効果的な自己表現能力を育てる また、大学での学習の入り口として、学	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。	
他者と協調・協働して問題解決にあたる	論理的・批判的に物事を考えることができる。 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自 己表現ができるようになる。	
しい刀(1つ以上3つまで)/Abilities other than Diversity 主体性/Autonomy 協働	Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society	
degree of comprehension of the conterm B.多角的に考えるために他者と関わる。 various perspectives 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促students' thinking other than the about	g C.技能修得のために実践する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively	
初年次セミナーに対する取り組み方やデ 収集状況・分析など),プレゼンテーション	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加,情報の収集状況・分析など),プレゼンテーション(わかりやすい資料,話の構成,説得力など),レポート(構成,文章表現など)により総合的に評価し,最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。詳細は	
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review 予習: レジュメの内容の把握及び報告資 復習:講義内でのフィードバックの反映	` '	
キーワード/Keywords		
教科書・教材・参考書/Materials 講義内で資料を配布する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites		

アクセシビリティ/Accessibility (for students	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下
with disabilities)	さい。
,	アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先
	(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	(E-MATE) Supporteint .nagasakt-u.ac. jp 対面で行う。
州で/ Kellidi KS	「長大生のためのラーニングティップス」
学生へのメッセージ/Message for students	・長人生のためのラーニングディップ人」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか	Inttps://www.mnov.magasaki-u.ac.jp/content-resurt/student/
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使	
用) /Name / Details of practical experience /	
Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(対面)
第2回	研究テーマに関する討議(対面)
第3回	グループごとの活動 (対面)
第4回	図書館ガイダンス
第5回	グループごとの活動 (対面)
第6回	グループごとの研究の中間報告 (対面)
第7回	グループごとの活動(対面)
第8回	グループごとの活動 (対面)
第9回	グループごとの研究の中間報告(対面)
第10回	研究テーマに関する討議(対面)
第11回	グループごとの活動 (対面)
第12回	グループごとの活動 (対面)
第13回	グループごとの活動 (対面)
第14回	グループごとの研究の最終報告(対面)
第15回	グループごとの研究の最終報告 (対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期	曜日・校時 / Day・Period	
字期 / SellieSter	/First Semester	唯口·仅时/Day·Pellod	金/Fri 4
開講期間/Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	20240581003027	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(経済) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	宇都宮 譲/Utunomiya Yuzuru		
授業担当教員名(科目責任者)	宇都宮 譲/Utunomiya Yuzuru		
/ Instructor in charge of the course			
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	宇都宮 譲/Utunomiya Yuzuru		
科目分類/Course Category	教養ゼミナール科目、教養ゼミナ	ール科目,大学院科目[構造],自由	
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態/Course style	演習/Seminar
教室/Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yuzuru nagasaki-u.ac.jp(メー	ルを送信する際は を@に置き換え	てください)
担当教員研究室/Office	東南アジア研究所209室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日5限		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	のオリエンテーション機能を果た そのため、知的活動への動機づけ を通じて効果的な自己表現能力を	を高め、レポートとプレゼンテーシ 育てることを具体的な目標とする。 て、学生と教員及び学生相互のコミ	ョンとディスカッションなど
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自 己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	Diversity 主体性/Autonomy 協働性/Cooperativeness 考えをやり取りするカ/Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心/Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加,情報の収集状況・分析など),プレゼンテーション(わかりやすい資料,話の構成,説得力など),レポート(構成,文章表現など)により総合的に評価し,最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習 テキストの中で読んでくるべき個所を示すので、それらに目を通したうえで講義にのぞむこと。(2h) 復習 テキストとレジュメを再読し、理解を確実にするよう努めること。(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	村木正昭監修、石井信明・原田博 工業管理術』実教出版 (isbn: 97	幸・峯尾啓司・吉田透・吉竹弘行・ 84407339321)。	布施憲夫・増井伸博(2016)『
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに
INDITION IN THE A LACCASSIBILITY (for students I	ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下
with disabilities)	さい。
	アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948
	(E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式とおインライン形式(オンデマンド)のハイブリッド型で実施します。
241. 2.1. 2.1.	「長大生のためのラーニングティップス」
学生へのメッセージ/Message for students	https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか	M.
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N .
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使	
用)/Name / Details of practical experience /	
Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション(対面)
第2回	企業の仕組み(対面)
第3回	企業の仕組み(つづき)(対面)
第4回	生産管理(対面)
第5回	生産管理(つづき)(対面)
第6回	科学的管理法(対面)
第7回	科学的管理法(つづき)(対面)
第8回	科学的管理法(つづき)(対面)
第9回	品質管理 (対面)
第10回	品質管理(つづき)(対面)
第11回	図書館ガイダンス(対面)
第12回	キャンパスガイド(対面)
第13回	まとめ (対面)
第14回	予備日(対面)
第15回	試験(対面)

WHE	2024年度 / Academic Year 前期		
学期/Semester	/First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 4
開講期間/Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		_
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20240581003028	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(経済) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大角 道子/Ogaku Michiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大角 道子/Ogaku Michiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大角 道子/Ogaku Michiko		
科目分類/Course Category	教養ゼミナール科目、教養ゼミナ	ール科目,大学院科目[構造],自由	選択科目/Elective Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態/Course style	演習/Seminar
教室/Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ohgakuの後にドメイン名@nagasak	i-u.ac.jpをつけてください.	
担当教員研究室/Office	経済学部本館5階512研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えるこ 他者と協調・協働して問題解決に	とができる。	技能を身につけ、効果的な自
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	Diversity 主体性/Autonomy		理解/Understanding えをやり取りする力/Ability national / local society
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 dotivities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 c. 大会にいまするには、comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 brown Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される brown Incomprehensively of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	グループ活動への貢献50%,個人レ	·ポート50% .	
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照	_	
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習(2h) 次回のセミナーの議題に 復習(2h) 今回のセミナーの議題に		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	指定なし。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下
with disabilities)	さい。
	アシスト広場(障がN学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948
	(E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面形式
	「長大生のためのラーニングティップス」
学生へのメッセージ/Message for students	https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか	N.
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N .
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使	
用)/Name / Details of practical experience /	
Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション グループ分け 役割分担の決定(対面)
第2回	グループ研究テーマに関する討議(1)(対面)
第3回	グループ研究テーマに関する討議(2) (対面)
第4回	グループ研究テーマに関する討議(3)(対面)
第5回	グループ研究テーマに関する討議(4) (対面)
第6回	グループ研究テーマに関する討議(5) (対面)
第7回	グループ研究テーマに関する討議(6)(対面)
第8回	グループ研究テーマに関する資料収集(1) (対面)
第9回	グループ研究テーマに関する資料収集(2) (対面)
第10回	グループ研究テーマに関する資料収集(3) (対面)
第11回	グループ研究テーマに関する資料収集(4) (対面)
第12回	グループ研究テーマに関する資料収集(5) (対面)
第13回	グループ研究テーマの調査結果のまとめ(対面)
第14回	グループ研究テーマの調査結果発表の準備(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
	/First Semester		
開講期間/Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29	W/A-WL/ 40/45 \ (57.24 \ (0.00)	I
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	20240581003029	科目番号/Course code	05810030
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(経済) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小野 哲 / Ono Tetu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	小野 哲 / Ono Tetu		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	小野 哲/Ono Tetu		
/ Instructor(s)	*******		
科目分類 / Course Category		ール科目,大学院科目[構造],自由	
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態/Course style	演習/Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	経済学部1年生		5 - 4/21
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	-	ールを送信する際は を@に置き換	えてください)
担当教員研究室/Office	経済学部本館5階532番研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前か後、もしくはメールで		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り,大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標としています。 そのため,知的活動への動機づけを高め,レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とします。 また,大学での学習の入り口として,学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り,グループ作りに役立てることも狙いとしています。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自 己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	Diversity 主体性/Autonomy 協働性/Cooperativeness 考えをやり取りする力/Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心/Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加、情報の収集状況・分析など)、プレゼンテーション(わかりやすい資料、話の構成、説得力など)、レポート(構成、文章表現など)によりつぎの内容で評価します。プレゼンテーション課題(30点)+授業への取組み(20点)+レポート課題(50点)=100点満点のうち60点以上を「合」とします。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review		などを事前に読んでおくこと。(2 ライドや資料などを再読し、理解を	
キーワード/Keywords	主体的・組織的学習		
教科書・教材・参考書/Materials	教員の作成したスライドや資料、「長大生のためのラーニングディップス」を用いながら授業を行 うので、特定のテキストなどは使用しません。参考書等は、プレゼンテーションやディスカッショ ンなどの内容に応じて適宜指示します。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特になし。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下
	さい。
	アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先
	(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
	(E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は 1 ~ 8 回までは対面、 9 ~ 14回まではリアルタイム・オンライン、15回は対面という内容の ハイブリッド型で実施します。
	大学での今後のひな形となる大切な授業です。この授業を通じて主体的・能動的な学習態度を身に付けましょう。
学生へのメッセージ/Message for students	
	「長大生のためのラーニングティップス」
	https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか	N N
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	l'
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使	
用)/Name / Details of practical experience /	
Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回(4/11)	オリエンテーション (対面) 第2回以降の授業計画はクラスごとに異なります。
第2回(4/18)	第4回~6回プレゼンテーションとディスカッション練習の説明(対面)
第3回(4/25)	図書館ガイダンス(対面)
第4回(5/2)	プレゼンテーションとディスカッション練習 (対面)
第5回(5/9)	プレゼンテーションとディスカッション練習 (対面)
第6回 (5/16)	プレゼンテーションとディスカッション練習 (対面)
第7回 (5/23)	レポートの書き方の説明(対面)
第8回 (5/30)	グループによるレポートの説明とグループ分け(対面)
第9回(6/6)	グループによるレポートのテーマ設定 (リアルタイムオンライン)
第10回(6/13)	グループによるレポートのテーマ設定 (リアルタイムオンライン)
第11回(6/20)	グループによるレポートのテーマ設定 (リアルタイムオンライン)
第12回(6/27)	グループによるレポートの作成 (リアルタイムオンライン)
第13回 (7/4)	グループによるレポートの作成 (リアルタイムオンライン)
第14回 (7/11)	グループによるレポートの作成 (リアルタイムオンライン)
第15回 (7/18)	グループによるレポートのプレゼンテーションとレポートの提出 (対面)

学期 / Semester	2024年度/Academic Year 前期	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 4
	/First Semester	HELD 1243 / Day 101100	W / 111 4
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	20240581003030	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(経済) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員/Instructor in charge of the course syllabus	加藤 隆宏/KATO Takahiro		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	加藤 隆宏/KATO Takahiro		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	加藤 隆宏/KATO Takahiro		
科目分類 / Course Category		 ール科目,大学院科目[構造],自由	選択利日 / Flactive Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	^{1, 2, 3, 4} 学部問い合わせのこと	m我///忽/ Course Style	/央目 / Sellittlat
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address		 p (メール送信時は を@に変更して	てください)
担当教員研究室/Office		パス)の本館(学務係が1階にある様	
担当教員TEL/Tel	095-820-6331	八人)の平品(子切ぶが同じのもり	K) 0PB002与至
15-3 X Q (可能です)。ただし、メールでのや	リとり以外については、事前
担当教員オフィスアワー/Office hours	に日程調整メールをください。	THE COY OF THE COY) C) (() (C C C C T III
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自 己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 shr>/ Activities to check the		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	F.教員からの講義のみで構成される おおっています。 では、		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review		授業内容の理解に努める。また、授 ループのメンバーと議論する(2h-4h	
キーワード/Keywords	ンv・Cロガゆりに然思し、同しク	/v ノいハノハーC成冊サ句(201-40)	,
教科書・教材・参考書/Materials	 授業で参照する資料や文献は、授 適宜、必要な資料を配付する。	業中に指示する。	
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特になし		
- Constant of the constant of	1		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948
/M-+	(E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は原則として対面で実施する。
学生へのメッセージ/Message for students	講義やグループワークを通して、大学生活で必要となる文献や法令の読み方、論文・レポートの書き方、プレゼンの仕方などについて学ぶことを目的とする。 講義やグループワークでの議論に主体的に参加することを期待する。 「長大生のためのラーニングティップス」
	https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか	l _Y
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	加藤 晚堂 / 税数运动 / 税数 和税工结关 和税法不久而 克安 / 郑州功士》 京顾知兴乡 经证据
	加藤 隆宏/税務行政/税務、租税手続き、租税法の企画・立案(税制改正)、国際課税などに携 わった経験
Contents of course	1.7.2 / C R
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション (対面) 第2回以降の授業計画はクラスごとに異なります。
第2回	研究テーマに関する討議(1)(対面)
第3回	研究テーマに関する討議(2)(対面)
第4回	図書館ガイダンス(対面)
第5回	研究テーマ決定・グループ分け決定(対面)
第6回	論文・レポートのまとめ方について(対面)
第7回	プレゼンの仕方について (対面)
第8回	グループごとの活動(1) (対面)
第9回	グループごとの活動(2) (対面)
第10回	グループごとの研究の中間報告 (対面)
第11回	法令の読み方について(対面)
第12回	グループごとの活動(3) (対面)
第13回	グループごとの研究のまとめ(1)、学修ポートフォリオについて(対面)
第14回	グループごとの研究のまとめ(2) (対面)
第15回	グループごとの研究の最終報告(対面)

学期 / Semester	2024年度/Academic Year 前期	曜日・校時/Day・Period	金/Fri 5
于知 / Jelliestel	/First Semester	曜日 · 1文時 / Day · 1 el 10u	並/111 3
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	20240581003031	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(経済) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	加藤 隆宏/KATO Takahiro		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	加藤 隆宏/KATO Takahiro		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	加藤 隆宏/KATO Takahiro		
/Instructor(s)	***************************************)@
科目分類 / Course Category		ール科目,大学院科目[構造],自由	
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address		p(メール送信時は を@に変更して	
担当教員研究室/Office		パス)の本館(学務係が1階にある樹	東)6階602号室
担当教員TEL/Tel	095-820-6331		
担当教員オフィスアワー/Office hours	に日程調整メールをください。	可能です)。ただし、メールでのや	
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自 己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	Diversity 主体性 / Autonomy 励働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする月 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	F.教員からの講義のみで構成される おったのという。 It consists only of lectures from teachers 初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加,情報の収集状況・分析など),プレゼンテーション(わかりやすい資料,話の構成,説得力など),レポート(構成,文章表現など)により総合的に評価し,最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review		授業内容の理解に努める。また、授 ループのメンバーと議論する(2h-4h	
キーワード/Keywords		·	
教科書・教材・参考書/Materials	授業で参照する資料や文献は、授 適宜、必要な資料を配付する。	業中に指示する。	
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特になし		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) 備考/Remarks	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp 授業は原則として対面で実施する。 講義やグループワークを通して、大学生活で必要となる文献や法令の読み方、論文・レポートの書 き方、プレゼンの仕方などについて学ぶことを目的とする。
学生へのメッセージ/Message for students	講義やグループワークでの議論に主体的に参加することを期待する。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか	
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教	加藤 隆宏/税務行政/税務、租税手続き、租税法の企画・立案(税制改正)、国際課税などに携 わった経験
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(対面) 第2回以降の授業計画はクラスごとに異なります。
第2回	研究テーマに関する討議(1)(対面)
第3回	研究テーマに関する討議(2)(対面)
第4回	図書館ガイダンス(対面)
第5回	研究テーマ決定・グループ分け決定(対面)
第6回	論文・レポートの書き方について(対面)
第7回	プレゼンの仕方について(対面)
第8回	グループごとの活動(1) (対面)
第9回	グループごとの活動(2) (対面)
第10回	グループごとの研究の中間報告(対面)
第11回	法令の読み方について(対面)
第12回	グループごとの活動(3) (対面)
第13回	グループごとの研究のまとめ(1)、学修ポートフォリオについて(対面)
第14回	グループごとの研究のまとめ(2) (対面)
第15回	グループごとの研究の最終報告 (対面)

学期 / Semester	2024年度/Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 4
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	20240581003032	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(経済) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	工藤 健/Kudo Takeshi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	工藤 健/Kudo Takeshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等)			
/Instructor(s)	工藤 健/Kudo Takeshi		
科目分類/Course Category	┣━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━	 ール科目,大学院科目[構造],自由	選択科目/Elective Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと	,	
対象学生(クラス等) /Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tkudo nagasaki-u.ac.jp(メール	レを送信する際は を@に置き換えて	てください)
担当教員研究室/Office	経済学部本館5階521研究室		,
	<u></u>		
	対面またはオンライン(WebEx)で相	 目談を受け付ける	
担当教員オフィスアワー/Office hours	*時間割が確定してから改めて詳細		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自 己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 br>/ Activities involving others to think from various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 C.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加,情報の収集状況・分析など),プレゼンテーション(わかりやすい資料,話の構成,説得力など),レポート(構成,文章表現など)により総合的に評価し,最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。具体的には次の項目について評価を行う。 ・行動履歴報告:150点(10点×15回) ・セミナーへの取り組み方:300点(20点×15回) ・ブレゼンテーション:300点(報告資料と発表の貢献状況) ・レポートの内容:250点 の合計1000点のうち,600点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review)の記述,事前配布資料に基づく調査 取組,個別・グループによる打ち合	

キーワード/Keywords	アカデミック・スキル , アカデミック・ライティング	
教科書・教材・参考書/Materials	佐藤 望ほか(2020)『アカデミック・スキルズ(第3版) 大学生のための知的技法入門』慶應義塾 大学出版会	
受講要件(履修条件)/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@nl.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	授業は原則として対面形式で実施する	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/	
実務経験のある教員による授業科目であるか	N N	
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience		
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使		
用)/Name / Details of practical experience /		
Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents	
第1回	オリエンテーション (対面) 第2回以降の授業計画はクラスごとに異なります。	
第2回	協働する意義,聴き方(対面)	
第3回	話し方(伝達),書き方(可視化)(対面)	
第4回	図書館ガイダンス(情報の集め方)(対面)	
第5回	研究テーマ決定・グループ分け決定(対面)	
第6回	考えの拡げ方,共有の仕方(対面)	
第7回	グループごとの活動(1)(対面)	
第8回	グループごとの活動(2)(対面)	
第9回	グループごとの研究の中間報告(考えの伝え方)(対面)	
第10回	レポートの書き方(対面)	
第11回	グループごとの活動(3) (対面)	
第12回	グループごとの活動(4)(対面)	
第13回	グループごとの研究のまとめ(1)、学修ポートフォリオについて(対面)	
第14回	グループごとの研究のまとめ(2)(対面)	

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 4
開講期間/Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	20240581003033	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(経済) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	桑波田 浩之/KUWAHATA Hiroyuk	桑波田 浩之/KUWAHATA Hiroyuki	
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	桑波田 浩之 / KUWAHATA Hiroyuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	桑波田 浩之/KUWAHATA Hiroyuk	i	
科目分類 / Course Category	 教養ゼミナール科目,教養ゼミナ	 ール科目,大学院科目[構造],自由:	選択科目/Elective Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習/Seminar
教室/Class room	学部問い合わせのこと	,	•
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kuwahata[at]nagasaki-u.ac.jp	 [at]を@にかえて下さい	
担当教員研究室/Office	経済学部本館608研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜1・2校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自 己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される strong Lectures from teachers Lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加,情報の収集状況・分析など),プレゼンテーション(わかりやすい資料,話の構成,説得力など),レポート(構成,文章表現など)により総合的に評価し,最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前:授業内で時間が足りない場合、研究テーマの選定、文献資料収集、プレゼンテーションの準備、レポートの作成等は授業時間外で行います。(0.5h) 事後:主体的・能動的学習は授業時間だけでは完結しません。グループや個人の探求・考察の結果を記録し、授業の節目節目に振り返ってください。(0.5h)		
キーワード/Keywords			

教科書は指定しません。以下の文献は、授業の参考書として有益です。 井下千以子 (2019) 「思考を鍛えるレポート論文作成法 第3版」、慶應義塾大学出 河野哲也 (2018) 「レポート・論文の書き方入門 第4版」、慶應義塾大学出版会 教科書・教材・参考書/Materials 佐藤望、湯川武、横山千晶、近藤明彦 (2020)「アカデミック・スキルズ 大学生の 入門 第3版」、慶應義塾大学出版会	
佐渡嶋紗織、ディエゴ・オリベイラ、嶼田大海、ニコラス・デルグレゴ (2020) 「 をさらによくする「引用」ガイド」、大修館書店	ための知的技法
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨け 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮 いては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp	等のサポートに
備考/Remarks 授業は、原則対面で実施します。変更がある場合は、LACSにてお知らせします。	
学生へのメッセージ/Message for students 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time) 授業内容/Contents	
回(日時) / Time(date and time) 授業内容 / Contents おりエンテーション(対面) 第2回以降の授業計画はクラスごとに異なります。	
第1回 オリエンテーション (対面)	
第1回 オリエンテーション (対面) 第2回以降の授業計画はクラスごとに異なります。	
第1回 オリエンテーション (対面) 第2回以降の授業計画はクラスごとに異なります。 第2回 大学生活の注意点 (対面)	
第1回 オリエンテーション(対面) 第2回以降の授業計画はクラスごとに異なります。 第2回 大学生活の注意点(対面) 第3回 図書館ガイダンス(対面)	
第1回 オリエンテーション (対面) 第2回以降の授業計画はクラスごとに異なります。 第2回 大学生活の注意点 (対面) 第3回 図書館ガイダンス (対面) 第4回 グループワーク(1): ブレーンストーミング・KJ法 (対面)	
#1回 オリエンテーション (対面) 第2回以降の授業計画はクラスごとに異なります。 #2回 大学生活の注意点 (対面) #3回 図書館ガイダンス (対面) #4回 グループワーク(1): ブレーンストーミング・KJ法 (対面) #5回 グループワーク(2): グループ発表 (対面)	
第1回 オリエンテーション (対面) 第2回以降の授業計画はクラスごとに異なります。 第2回 大学生活の注意点 (対面) 第3回 図書館ガイダンス (対面) 第4回 グループワーク(1): ブレーンストーミング・KJ法 (対面) 第5回 グループワーク(2): グループ発表 (対面) 第6回 レポートの作成(1): 研究テーマの選定 (対面)	
#1回 オリエンテーション (対面) 第2回以降の授業計画はクラスごとに異なります。 大学生活の注意点 (対面) 第3回 図書館ガイダンス (対面) 第4回 グループワーク(1): ブレーンストーミング・KJ法 (対面) 第5回 グループワーク(2): グループ発表 (対面) 第6回 レポートの作成(1): 研究テーマの選定 (対面) 第7回 レポートの作成(2): 参考文献 (対面)	
#1回 オリエンテーション (対面) 第2回以降の授業計画はクラスごとに異なります。 大学生活の注意点 (対面) 第3回 図書館ガイダンス (対面) 第4回 グループワーク(1): ブレーンストーミング・KJ法 (対面) 第5回 グループワーク(2): グループ発表 (対面) 第6回 レポートの作成(1): 研究テーマの選定 (対面) 第7回 レポートの作成(2): 参考文献 (対面) 第8回 レポートの作成(3): 数式の作成 (対面)	
第1回 オリエンテーション(対面) 第2回以降の授業計画はクラスごとに異なります。 第2回 大学生活の注意点(対面) 第3回 図書館ガイダンス(対面) 第4回 グループワーク(1): ブレーンストーミング・KJ法(対面) 第5回 グループワーク(2): グループ発表(対面) 第6回 レポートの作成(1): 研究テーマの選定(対面) 第7回 レポートの作成(2): 参考文献(対面) 第8回 レポートの作成(3): 数式の作成(対面) 第9回 レポートの作成(4): 表の作成(対面)	
第1回 オリエンテーション (対面) 第2回以降の授業計画はクラスごとに異なります。 大学生活の注意点 (対面) 第3回 図書館ガイダンス (対面) 第4回 グループワーク(1): ブレーンストーミング・KJ法 (対面) 第5回 グループワーク(2): グループ発表 (対面) 第6回 レポートの作成(1): 研究テーマの選定 (対面) 第7回 レポートの作成(2): 参考文献 (対面) 第8回 レポートの作成(3): 数式の作成 (対面) 第9回 レポートの作成(4): 表の作成 (対面) 第10回 レポートの作成(5): 図の作成 (対面)	
#1回	
第1回 オリエンテーション(対面) 第2回以降の授業計画はクラスごとに異なります。 第2回 大学生活の注意点(対面) 第3回 図書館ガイダンス(対面) 第4回 グループワーク(1): ブレーンストーミング・KJ法(対面) 第5回 グループワーク(2): グループ発表(対面) 第6回 レポートの作成(1): 研究テーマの選定(対面) 第7回 レポートの作成(2): 参考文献(対面) 第8回 レポートの作成(3): 数式の作成(対面) 第9回 レポートの作成(4): 表の作成(対面) 第10回 レポートの作成(5): 図の作成(対面) 第11回 レポートの作成(6): プレゼンテーション(対面) 第12回 テーマの分析(1): Excelの基本操作(対面)	

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期	 曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
字期 / Semester	/First Semester	唯口・校時/Day・Period	水/ Inu 5
開講期間/Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	20240581003034	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(経済) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	宍倉 学/Shishikura Manabu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	宍倉 学/Shishikura Manabu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	宍倉 学/Shishikura Manabu		
科目分類 / Course Category		 ール科目,大学院科目[構造],自由:	選択科目/Elective Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shishi nagasaki-u.ac.jp(メー		てください)
担当教員研究室/Office	東南アジア研究所2階 206号		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後1時間。その他時間も受さい。	そけ付けますが、その際は事前にメ-	- ルでアポイントを取ってくだ
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自 己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される トラストランド Consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加,情報の収集状況・分析など),プレゼンテーション(わかりやすい資料,話の構成,説得力など),レポート(構成,文章表現など)により総合的に評価し,最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	 予習:次週までの課題を提示しま (0.5h)	すので、与えられた課題に対してま	とめを行っておくこと。
キーワード/Keywords	()		
教科書·教材·参考書/Materials		 業で提示します。なお必要に応じて	 資料を配布します。
受講要件(履修条件)/Prerequisites		weight = 0.7 % Grown Scheme O C	23.1 2 HO 11 0 00 7 0
NEW METERS IN CONTRACTOR OF THE SERVICES	L		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) 備考/Remarks 学生へのメッセージ/Message for students	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948(E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp 対面 大学での学びの基礎を担う授業になります。普段から時事問題などに興味を持っておいてください。	
実務経験のある教員による授業科目であるか	https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/	
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	宍倉学/総務省での勤務経験/実務と理論の両面から課題の解決方法を検討する	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents	
第1回	オリエンテーション (対面)	
第2回	研究テーマに関する討議(1)(対面)	
第3回	研究テーマに関する討議(2)(対面)	
第4回	図書館ガイダンス(対面)	
第5回	研究テーマ決定(対面)	
第6回	レポートのまとめ方について(対面)	
第7回	プレゼンテーションの仕方について(対面)	
第8回	グループディスカッション(1)(対面)	
第9回	グループディスカッション(2) (対面)	
第10回	研究の中間報告 (対面)	
第11回	データ収集(対面)	
第12回	データ分析(対面)	
第13回	結果まとめ(1) (対面)	
第14回	結果まとめ(2)(対面)	
第15回	加小のこの(2) (7)回)	

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	20240581003035	N 科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001	11Am 21 contec cont	
授業科目名/Course title	初年次セミナー(経済) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the	(1201)		
course syllabus	島田 章/Shimada Akira	島田 章/Shimada Akira	
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	島田 章/Shimada Akira		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	島田 章/Shimada Akira		
科目分類 / Course Category		ール科目,大学院科目[構造],自由	
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態/Course style	演習/Seminar
教室/Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shimada nagasaki-u.ac.jp (メ	ールを送信する際は を@に置き換	えて送信してください)
担当教員研究室/Office	経済学部本館501		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後の10分間		
	大学入学以前の教師主導型を主と	する学習からの転換を図り,大学に	おける主体的・能動的学習へ
	のオリエンテーション機能を果た		
		を高め,レポートとプレゼンテーシ	ョンとディスカッションなど
		育てることを具体的な目標とする。	
授業の概要及び位置づけ/Course overview		て,学生と教員及び学生相互のコミ	ュニケーションを図り,グル
	ープ作りに役立てることも狙いと		
	資料の収集、発表、レポートの作品がはまる。		コペショクは ナンディラン
	授業は可能な限り対面で実施するが、大学の指示などにより対面が不可能な場合は、オンディマンドやリアルタイムなどの方法も用いる。これらの方法で実施する場合は、改めて連絡する。		
	論理的・批判的に物事を考えるこ		は、以めて圧縮する。
	他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。		
	l	vョン,レポートなどの基本的学習技	能を身につけ,効果的な自己表
授業到達目標/Course goals	現ができるようになる。以上、学部共通記載事項。		
12×11×11 mm course gours			
	l	二関する幅広い知識とそれらを駆使し	ンた思考方法・技術を身につけ
	使うことができるようになる。	ひかすく伝う 討論することができる	2
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲)やすく伝え、討論することができる	
しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than	汎用的能力/Generic Competen		理解 / Understanding
knowledge and skills acquired mainly through	Diversity 王体性 / Autonomy	•	えをやり取りする力 / Ability
the course (pick 1 to 3)	<u> </u>	成社会への関心∕Interest in inter	•
		り自分で考えさせたりする活動 <br< td=""><td></td></br<>	
		contents to the lesson or to th	
		関わる活動 / Activities invo	Iving others to think from
学生の田老を活性化させるための哲学手注/Tanabina	various perspectives C 特能修得のために宝珠する活	耐 zhrz/ Activitios to prootice	for acquiring skills
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	l	動 br>/ Activities to practice 的に活用する活動 br>/ Activitie	-
mothed to Stimulate Students tilliking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 dtilize knowledge to solve problems		
	E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate		
	students' thinking other than		
		れる / It consists only of I	
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation		告、質疑応答が50%、筆記レポート	が50%、全体の60%を合格とす
	వ 。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course	 詳細は授業計画詳細を参照		
contents of each lesson	予習:自分の研究テーマに関連す	ス容料のIIV隹と敕冊(フト \	
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予省:自分の研究デーマに関連9 復習:討論等によって生じた問題		
キーワード/Keywords	THE PARTY OF THE P		
1 7 They had as	I .		

教科書・教材・参考書/Materials	日本経済新聞
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は可能な限り対面で実施するが、大学の指示などにより対面が不可能な場合は、オンディマンドやリアルタイムなどの方法も用いる。これらの方法で実施する場合は、改めて連絡する。
学生へのメッセージ/Message for students	私に用事があってメールを送る場合は件名に「2024年度初年次セミナーの誰々(名前、学生番号)で、用件は何々(例えば、質問)」などと書いてください。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか	N
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	IN .
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
回(日時)/Time(date and time) 第1回	授業内容 / Contents オリエンテーション (対面)
第1回	オリエンテーション(対面)
第1回	オリエンテーション (対面) 研究テーマの探索と研究グループの編成 (対面) 研究テーマごとの研究テーマの決定、研究計画の立案 (対面) スライドや筆記レポート作成についての学習 (図書館ガイダンスなどへの出席を含むことがある
第1回 第2回 第3回	オリエンテーション (対面) 研究テーマの探索と研究グループの編成 (対面) 研究テーマごとの研究テーマの決定、研究計画の立案 (対面)
第1回 第2回 第3回 第4回	オリエンテーション (対面) 研究テーマの探索と研究グループの編成 (対面) 研究テーマごとの研究テーマの決定、研究計画の立案 (対面) スライドや筆記レポート作成についての学習 (図書館ガイダンスなどへの出席を含むことがある) (対面)
第1回 第2回 第3回 第4回	オリエンテーション(対面) 研究テーマの探索と研究グループの編成(対面) 研究テーマごとの研究テーマの決定、研究計画の立案(対面) スライドや筆記レポート作成についての学習(図書館ガイダンスなどへの出席を含むことがある)(対面) 研究グループごとの研究、スライドや筆記レポートの作成(1)(対面)
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回	オリエンテーション(対面) 研究テーマの探索と研究グループの編成(対面) 研究テーマごとの研究テーマの決定、研究計画の立案(対面) スライドや筆記レポート作成についての学習(図書館ガイダンスなどへの出席を含むことがある)(対面) 研究グループごとの研究、スライドや筆記レポートの作成(1)(対面) 研究グループごとの研究、スライドや筆記レポートの作成(2)(対面)
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	オリエンテーション(対面) 研究テーマの探索と研究グループの編成(対面) 研究テーマごとの研究テーマの決定、研究計画の立案(対面) スライドや筆記レポート作成についての学習(図書館ガイダンスなどへの出席を含むことがある)(対面) 研究グループごとの研究、スライドや筆記レポートの作成(1)(対面) 研究グループごとの研究、スライドや筆記レポートの作成(2)(対面) 研究グループごとの研究、スライドや筆記レポートの作成(3)(対面)
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回	オリエンテーション(対面) 研究テーマの探索と研究グループの編成(対面) 研究テーマごとの研究テーマの決定、研究計画の立案(対面) スライドや筆記レポート作成についての学習(図書館ガイダンスなどへの出席を含むことがある)(対面) 研究グループごとの研究、スライドや筆記レポートの作成(1)(対面) 研究グループごとの研究、スライドや筆記レポートの作成(2)(対面) 研究グループごとの研究、スライドや筆記レポートの作成(3)(対面) 中間報告会(スライドをつかったプレゼンテーション)(対面)
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回	オリエンテーション(対面) 研究テーマの探索と研究グループの編成(対面) 研究テーマごとの研究テーマの決定、研究計画の立案(対面) スライドや筆記レポート作成についての学習(図書館ガイダンスなどへの出席を含むことがある)(対面) 研究グループごとの研究、スライドや筆記レポートの作成(1)(対面) 研究グループごとの研究、スライドや筆記レポートの作成(2)(対面) 研究グループごとの研究、スライドや筆記レポートの作成(3)(対面) 研究グループごとの研究、スライドや筆記レポートの作成(3)(対面) 中間報告会(スライドをつかったプレゼンテーション)(対面) 研究グループごとの研究、スライドや筆記レポートの作成、コメントに基づいた修正(1)(対面)
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回	オリエンテーション(対面) 研究テーマの探索と研究グループの編成(対面) 研究テーマごとの研究テーマの決定、研究計画の立案(対面) スライドや筆記レポート作成についての学習(図書館ガイダンスなどへの出席を含むことがある)(対面) 研究グループごとの研究、スライドや筆記レポートの作成(1)(対面) 研究グループごとの研究、スライドや筆記レポートの作成(2)(対面) 研究グループごとの研究、スライドや筆記レポートの作成(3)(対面) 中間報告会(スライドをつかったプレゼンテーション)(対面) 研究グループごとの研究、スライドや筆記レポートの作成、コメントに基づいた修正(1)(対面) 研究グループごとの研究、スライドや筆記レポートの作成、コメントに基づいた修正(1)(対面) 研究グループごとの研究、スライドや筆記レポートの作成、コメントに基づいた修正(2)(対面)
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回	オリエンテーション(対面) 研究テーマの探索と研究グループの編成(対面) 研究テーマごとの研究テーマの決定、研究計画の立案(対面) スライドや筆記レポート作成についての学習(図書館ガイダンスなどへの出席を含むことがある)(対面) 研究グループごとの研究、スライドや筆記レポートの作成(1)(対面) 研究グループごとの研究、スライドや筆記レポートの作成(2)(対面) 研究グループごとの研究、スライドや筆記レポートの作成(3)(対面) 中間報告会(スライドをつかったプレゼンテーション)(対面) 研究グループごとの研究、スライドや筆記レポートの作成、コメントに基づいた修正(1)(対面) 研究グループごとの研究、スライドや筆記レポートの作成、コメントに基づいた修正(2)(対面) 研究グループごとの研究、スライドや筆記レポートの作成、コメントに基づいた修正(2)(対面) 研究グループごとの研究、スライドや筆記レポートの作成、コメントに基づいた修正(3)(対面)
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第11回	オリエンテーション(対面) 研究テーマの探索と研究グループの編成(対面) 研究テーマごとの研究テーマの決定、研究計画の立案(対面) スライドや筆記レポート作成についての学習(図書館ガイダンスなどへの出席を含むことがある)(対面) 研究グループごとの研究、スライドや筆記レポートの作成(1)(対面) 研究グループごとの研究、スライドや筆記レポートの作成(2)(対面) 研究グループごとの研究、スライドや筆記レポートの作成(3)(対面) 研究グループごとの研究、スライドや筆記レポートの作成(3)(対面) 中間報告会(スライドをつかったプレゼンテーション)(対面) 研究グループごとの研究、スライドや筆記レポートの作成、コメントに基づいた修正(1)(対面) 研究グループごとの研究、スライドや筆記レポートの作成、コメントに基づいた修正(2)(対面) 研究グループごとの研究、スライドや筆記レポートの作成、コメントに基づいた修正(3)(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 4
用講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	20240581003036	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(経済) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鈴木 崇文/SUZUKI Takafumi		
授業担当教員名(科目責任者) /Instructor in charge of the course	鈴木 崇文/SUZUKI Takafumi	鈴木 崇文 / SUZUKI Takafumi	
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	鈴木 崇文/SUZUKI Takafumi		
科目分類/Course Category	教養ゼミナール科目,教養ゼミナ	ール科目,大学院科目[構造],自由	選択科目/Elective Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態/Course style	演習/Seminar
教室/Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takafumi.suzuki nagasaki-u.ac)	.jp (メールを送信する際は を@に 	置き換えて送信してください
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階624研究室		
担当教員TEL/Tel	連絡はEメールでお願いします。		
担当教員オフィスアワー/Office hours		授業の前後に遠慮なく質問して頂いて大丈夫です。また、Eメールでの問合せは随時受け付けますし、Eメールで事前に日程調整をして頂ければ別途対面やZoomでの対応も致します。	
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自 己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 double to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される F.教員からの講義のみで構成される F.文章 Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 C. Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される C. Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加,情報の収集状況・分析など),プレゼンテーション(わかりやすい資料,話の構成,説得力など),レポート(構成,文章表現など)により総合的に評価し,最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	 詳細は授業計画詳細を参照 		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前:研究テーマに関する調査・資料収集及び分析(2h) 事後:ディスカッションを踏まえて研究内容を見直し、修正すべき点や分析を深めるべき点等を特定(2h)		
キーワード/Keywords			

	長大生のためのラーニングティップス(https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-	
教科書・教材・参考書/Materials	result/student/)	
	また、必要に応じ、資料をLACSに掲載します。	
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特になし	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948(E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	授業は原則として対面形式で実施します。	
学生へのメッセージ/Message for students	大学での今後の演習のひな型となる授業です。高校までの学習態度が受動的であったと思う人は、この授業を通じて、主体的・能動的な学習態度を身に付けるようにしましょう。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/	
実務経験のある教員による授業科目であるか	V	
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience		
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	鈴木 崇文/財務省において国際経済に係る諸機関(WTO、WCO、OECD(DAC)等)及び諸問題(関税及び非関税障 壁、貿易救済措置、通関システム、関税技術協力等)を担当、ベルギー(WCO)及び在スイス日本大使館での在外勤務経験あり。/前記の実務経験を踏まえた助言・指導を行います。	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents	
第1回	オリエンテーション (対面)	
第2回	図書館ガイダンス(他日となる可能性あり。)(対面)	
第3回	各自の関心事項(研究テーマ案)の発表(対面)	
第4回	グループ分け決定・研究テーマ決定(対面)	
第5回	グループごとの活動 (対面)	
第6回	グループごとの活動 (対面)	
第7回	グループごとの活動 (対面)	
第8回	グループごとの活動 (対面)	
第9回	グループごとの活動 (対面)	
第10回	グループごとの研究の中間報告(対面)	
第11回	グループごとの活動 (対面)	
第12回	グループごとの活動 (対面)	
第13回	グループごとの活動 (対面)	
第14回	グループごとの研究のまとめ、学修ポートフォリオについて(対面)	

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 5
用講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	20240581003037	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(経済) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鈴木 崇文 / SUZUKI Takafumi		
授業担当教員名(科目責任者) /Instructor in charge of the course	鈴木 崇文/SUZUKI Takafumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	鈴木 崇文/SUZUKI Takafumi		
科目分類/Course Category	教養ゼミナール科目,教養ゼミナ	ール科目,大学院科目[構造],自由	選択科目/Elective Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態/Course style	演習/Seminar
教室/Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takafumi.suzuki nagasaki-u.ac)	.jp(メールを送信する際は を@に	置き換えて送信してください
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階624研究室		
担当教員TEL/Tel	連絡はEメールでお願いします。		
担当教員オフィスアワー/Office hours		授業の前後に遠慮なく質問して頂いて大丈夫です。また、Eメールでの問合せは随時受け付けますし、Eメールで事前に日程調整をして頂ければ別途対面やZoomでの対応も致します。	
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自 己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 donc it is that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される F.教員からの講義のみで構成される Strong in the strong in the st		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加,情報の収集状況・分析など),プレゼンテーション(わかりやすい資料,話の構成,説得力など),レポート(構成,文章表現など)により総合的に評価し,最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	 詳細は授業計画詳細を参照 		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前:研究テーマに関する調査・資料収集及び分析(2h) 事後:ディスカッションを踏まえて研究内容を見直し、修正すべき点や分析を深めるべき点等を特定(2h)		
キーワード/Keywords			

	長大生のためのラーニングティップス(https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-	
教科書・教材・参考書/Materials	result/student/)	
	また、必要に応じ、資料をLACSに掲載します。	
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特になし	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948(E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	授業は原則として対面形式で実施します。	
学生へのメッセージ/Message for students	大学での今後の演習のひな型となる授業です。高校までの学習態度が受動的であったと思う人は、この授業を通じて、主体的・能動的な学習態度を身に付けるようにしましょう。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/	
実務経験のある教員による授業科目であるか	V	
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience		
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	鈴木 崇文/財務省において国際経済に係る諸機関(WTO、WCO、OECD(DAC)等)及び諸問題(関税及び非関税障 壁、貿易救済措置、通関システム、関税技術協力等)を担当、ベルギー(WCO)及び在スイス日本大使館での在外勤務経験あり。/前記の実務経験を踏まえた助言・指導を行います。	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents	
第1回	オリエンテーション (対面)	
第2回	図書館ガイダンス(他日となる可能性あり。)(対面)	
第3回	各自の関心事項(研究テーマ案)の発表(対面)	
第4回	グループ分け決定・研究テーマ決定(対面)	
第5回	グループごとの活動 (対面)	
第6回	グループごとの活動 (対面)	
第7回	グループごとの活動 (対面)	
第8回	グループごとの活動 (対面)	
第9回	グループごとの活動 (対面)	
第10回	グループごとの研究の中間報告(対面)	
第11回	グループごとの活動 (対面)	
第12回	グループごとの活動 (対面)	
第13回	グループごとの活動 (対面)	
第14回	グループごとの研究のまとめ、学修ポートフォリオについて(対面)	

	2024年度 / Academic Year 前期		
学期 / Semester	/First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	20240581003038	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(経済) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高井 計吾		
授業担当教員名(科目責任者) /Instructor in charge of the course	高井 計吾		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	高井 計吾		
科目分類/Course Category	教養ゼミナール科目、教養ゼミナ	ール科目,大学院科目[構造],自由	選択科目/Elective Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習/Seminar
教室/Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kegotak nagasaki-u.ac.jp(メー	-ルを送信する際は を@に置き換 <i>え</i>	してください)
担当教員研究室/Office	経済学部本館525		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義後、または事前にアポイント	メントを取った時間	
授業の概要及び位置づけ/Course overview	のオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなど を通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グル ープ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自 己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加,情報の収集状況・分析など),プレゼンテーション(わかりやすい資料,話の構成,説得力など),レポート(構成,文章表現など)により総合的に評価し,最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 事前に課題が与えられている場合は、相応の準備をしておくこと。(2h) 復習: 講義資料を再読し、理解を深めておくこと。(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	特になし		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) 備考/Remarks 学生へのメッセージ/Message for students	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp 原則として対面実施 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/	
実務経験のある教員による授業科目であるか	l _N	
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience		
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教		
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience /		
Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents	
第1回	オリエンテーション(対面) 第2回以降の授業計画はクラスごとに異なります。	
第2回	研究テーマに関する討議(1)(対面)	
第3回	研究テーマに関する討議(2)(対面)	
第4回	図書館ガイダンス(対面)	
第5回	研究テーマ決定・グループ分け決定 (対面)	
第6回	レポートのまとめ方について(対面)	
第7回	実地研修(1)(対面)	
第8回	グループごとの活動(1)(対面)	
第9回	グループごとの活動(2)(対面)	
第10回	グループごとの研究の中間報告 (対面)	
第11回	実地研修(2)(対面)	
第12回	グループごとの活動(3) (対面)	
第13回	グループごとの研究のまとめ(1)、学修ポートフォリオについて(対面)	
第14回	グループごとの研究のまとめ(2) (対面)	
第15回	グループごとの研究の最終報告 (対面)	

Missing / Course duration	学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 4
参修、選択、自由 / required / Elective elective optional elective, optional elective, optional (Gararia / Transfer/Overseas) 1,0,2,0/1,0/1,0,2,0 (Bagaria / Transfer/Overseas) estational elective, optional (Gararia / Transfer/Overseas) 05810330 (SFY 1922) 001 (SFY 192		/First Semester	Par IXAN Pay 101100	<u> </u>
Continue of policy Continue Continue of policy Continue of pol	開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29	1	
### Provided to the course stitle	必修選択 / Required / Elective			1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
要素料自名/Course title	時間割コード/Time schedule code	20240581003039	科目番号 / Course code	05810030
無禁担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus 接触当教員会 (利目責任者) / Instructor in charge of the course (科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
接出版 / Paysani kawa Birjuki 接出版 / Paysani kawa Birjuki 接出版 / Paysani kawa Birjuki 技術 / Paysani kawa Birjuki 技術 / Paysani kawa Mirjuki Mirituctor (s) 林川 美由版 / Haysani kawa Mirjuki 村田分離 / Course Category 教養ゼミナール科目、教養ゼミナール科目、大学院科目 (構造)、自由選択科目 / Elective Course (授業科目名 / Course title	初年次セミナー(経済) / Firs	t-Year Seminar	
接触性 接触		林川 美由樹/Hayashikawa Miyul	ki	
探索担当教員名(オムニバス科目等) 株 美由樹 / Hayashi kawa Miyuki 利目分類 / Course Category 教養ゼミナール科目、教養ゼミナール科目、教養ゼミナール科目、教養ゼミナール科目、大学祭科目[構造]。自由選択科目 / Elective Courd 対象年次 / Intended year 1, 2, 3, 4 講義形態 / Course style 演習 / Seminar 学問別に合わせのこと 対象学生 (クラス等) / Intended year (class) 経済学部1年生 担当教員ドメールアドレス/F-mail address helyuki nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えてください) 担当教員エメールアドレス/F-mail address helyuki nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えてください) 担当教員非究室/0ffice 担当教員オフィスアワー/0ffice hours 基本的にはEメールで質問を受けます。必要に応じてEメールでアボを取ってから対面で質問をます。 大学人学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学のオリエンテーションとディスカッションなどを記録がある。そのため、知的活動への動機プけを高・ます。	授業担当教員名(科目責任者)	林川 美由樹/Hayashikawa Miyul	ki	
報義形 / Course Category 教養ゼミナール科目、教養ゼミナール科目、大学院科目[構造]、自由選択科目 / Elective Course xty / Intended year 1, 2, 3, 4 調義形態 / Course sty / 演習 / Seminar 数室 / Class room 学部院い合わせのこと 対象学生 (クラス等) / Intended year (class) 接済学部1年生 地間 yuki nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えてください) 担当教員ボルプドレス/E-mail address 地間 yuki nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えてください) 担当教員が正人では 担当教員が正人では 日本的にはモメールで質問を受けます。必要に応じてEメールでアがを取ってから対面で質問を表す。	授業担当教員名(オムニバス科目等)	林川 美由樹/Hayashikawa Miyul	ki	
対象年次 / Intended year		┃ 数春ゼミナール科目 数春ゼミナ		選択科目 / Flective Courses
製造 / Class room				
対象学生(クラス等) /Intended year (class) 経済学部1年生 heiyuki nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は をのに置き換えてください) heiyuki nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は をのに置き換えてください) 担当教員研究室/Office 片淵本館610 月間教員TEL/Tel 担当教員オフィスアワー/Office hours 基本的にはEメールで質問を受けます。必要に応じてEメールでアがを取ってから対面で質問をます。 大学入学以前の教験主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学のオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため、知的活動への動模づけを高しポートとプレゼンテーションとをと通して効果的な自己表面的と称で、トクラスでは、企業活動の1つである財務報告を題材として、その役割、原稿の問題、解決のに必要なことの検討など多節的に考察する。 地名との情報と多面的に考察する。 地名との情報と多面的に考察する。 地名と多面的に考察する。 地名と多面的に考察する。 地名と多面的に考察する。 地名と多面的に考察する。 地名と多面的に考察する。 地名と多面的に考察する。 地名と多面的に考察する。 地名と多面的に考察する。 地名との世界を通りていてきる。 プィスカッション、ブレゼンテーション、レボートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的に対象なことの検討など多面的に考察する。 地名との情報と多面的に考察する。 地名との情報と多面的に考察する。 地名との情報と多面的に考察する。 地名との情報とあることができる。 プィスカッション、ブレゼンテーション、レボートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的に対象がある。 アイスカッション、ルボートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的になる。 別用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding liversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをわり取りするカー/ Activities involving others to think various perspectives できるようのに他者と関わる活動。 カロテ/ Activities involving thers to think various perspectives に上記り水の学生の思考の活性化を促す授業手法 カロテ/ Activities to check degree of competence のでは表したのでは表し合うのに活動でよった Activities to practice for acquiring skills utilize knowledge to solve problems に上記り水の学生の思考の活性化を促す授業手法 カロテ/ Activities to the students thinking が年次の大きの歌のみで構成される。 カロ・カロディスカロション (初年文はマナーへの積積的な参加、作業、分別などまたして、多様的な成績評価は、含まり、のでは表別、では、対理など)、レイペログ・ア・教育が主動したち、インラスでは関係的には、グレープレゼンテーション2回(15点 スタ回)・地容は関係の分別、作業のようにより、と述れのように表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表			H942/1/// OOUTOO STYTO	/XE / COMMING
抽当教員研究室/Office 片淵本館610 片淵本館610 片淵本館610 片淵本館610 担当教員研究室/Office 内部の関係を受けます。必要に応じてEメールでアボを取ってから対面で質問を受けます。必要に応じてEメールでアボを取ってから対面で質問を表す。	···			
担当教員オフィスアワー/Office hours			-ルを送信する際は を@に置き換え	えてください)
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員研究室/Office			
基本的にはEメールで質問を受けます。必要に応じてEメールでアがを取ってから対面で質問をます。		7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7		
大学人学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学のオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため、知的活動への動機づけを高したポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を高したが一トとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を高いた考験する。 また、大学での学習の入り口として、学生と教育及び学生相互のコミケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。本クラスでは、企業活動の1つである財務報告を題材として、その役割、原稿の問題、解決のに必要なことの検討など多面的に考察する。			Eす。必要に応じてEメールでアポを	取ってから対面で質問を受け
他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的: 己表現ができるようになる。 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course(pick 1 to 3) A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 本人ではいけにませんができるようになる。	授業の概要及び位置づけ/Course overview	本クラスでは、企業活動の1つである財務報告を題材として、その役割、原稿の問題、解決のため に必要なことの検討など多面的に考察する。		
LUI力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	授業到達目標/Course goals	他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自		
degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 **p*生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through	Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
収集状況・分析など),プレゼンテーション(わかりやすい資料,話の構成,説得力など),レか成績評価の方法・基準等/Method of evaluation (構成,文章表現など)により総合的に評価し,最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とするカラスでは具体的には、グループプレゼンテーション2回(15点×2回)+期末課題(60%)+スカッションへの主体的取り組み(10%)を目安に評価する。期末課題提出は単位認定に必ず必		B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 br>/ Activities involving others to think from various perspectives C.技能修得のために実践する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above		
	成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加,情報の収集状況・分析など),プレゼンテーション(わかりやすい資料,話の構成,説得力など),レポート(構成,文章表現など)により総合的に評価し,最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。本クラスでは具体的には、グループプレゼンテーション2回(15点×2回)+期末課題(60%)+ディスカッションへの主体的取り組み(10%)を目安に評価する。期末課題提出は単位認定に必ず必要である。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson 詳細は授業計画詳細を参照		9 詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review グループ発表の時に限らず、毎回扱う題材の予習を行って出席し、理解を確実にするために授に振り返りを行い期末課題提出に備えること。(2h)	事前、事後学修の内容/Preparation & Review	グループ発表の時に限らず、毎回扱う題材の予習を行って出席し、理解を確実にするために授業後に振り返りを行い期末課題提出に備えること。(2h)		
キーワード/Keywords	キーワード/Keywords			

教科書・教材・参考書/Materials	授業初回に指示する。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式とオンライン形式(オンデマンド)のハイブリット型で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合もあります。その場合はLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N .
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(対面)
第2回	大学の学びについて、グループ分け、引用マナー(対面)
第3回	研究テーマと研究デザイン、財務報告の役割と現状問題ならびに解決へ向けて(対面)
第4回	情報収集ガイダンス(対面)
第5回	グループ発表とディスカッション(1)(対面)
第6回	グループ発表とディスカッション(2)(対面)
第7回	グループ発表とディスカッション(3)(対面)
第8回	グループ発表とディスカッション(4)(対面)
第9回	グループ発表とディスカッション(5)(対面)
第10回	グループ発表とディスカッション(6)(対面)
第11回	グループ発表とディスカッション(7)(対面)
第12回	グループ発表とディスカッション(8)(対面)
第13回	グループ発表とディスカッション(9)(対面)
第14回	グループ発表とディスカッション(10)(対面)
第15回	振り返りと総括(対面)

学期 / Semester	2024年度/Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 4
用講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由/required,	単位数(一般/編入/留学)/Credits	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
	elective, optional	(General /Transfer/Overseas)	
時間割コード / Time schedule code	20240581003040	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(経済) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	南森 茂太/Minamimori Shigeta		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	南森 茂太/Minamimori Shigeta		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	南森 茂太/Minamimori Shigeta		
/ Instructor(s)	*******		開刊なり口 / 5 l 1 ' 0
科目分類 / Course Category		ール科目,大学院科目[構造],自由 	
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態/Course style	演習/Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	·	jp (メールを送信する際は を@に	置き換えてください)
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階625番研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日12:00~12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自 己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加,情報の収集状況・分析など),プレゼンテーション(わかりやすい資料,話の構成,説得力など),レポート(構成,文章表現など)により総合的に評価し,最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【事前】個別報告、グループディスカッションなどの準備をおこなう(2h) 【事後】内容について振り返りをおこなう(2h)		
キーワード/Keywords	大学での学び、カリキュラムと履修、資料収集、調査、グループワーク、プレゼンテーション、レ ポート・論文		
教科書・教材・参考書/Materials	適宜指示をする。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
- The state of the	1		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面形式。
学生へのメッセージ/Message for students	長崎大学経済学部で学ぶことの意義を発見してください!! 「長大生のためのラーニングティップス」
ㅁᅏᄱᄧᄼᇬᆂ교ᄝᅳᆫᆸᄀᄧᄣᄭᄆᅎᆂ교	https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション (対面) 第2回以降の授業計画はクラスごとに異なります。
第2回	研究テーマに関する討議(1)(対面)
第3回	研究テーマに関する討議(2)(対面)
第4回	図書館ガイダンス(対面)
第5回	研究テーマ決定・グループ分け決定(対面)
第6回	レポートのまとめ方について(対面)
第7回	実地研修(1) (対面)
第8回	グループごとの活動(1) (対面)
第9回	グループごとの活動(2) (対面)
第10回	グループごとの研究の中間報告(対面)
第11回	実地研修(2)(対面)
第12回	グループごとの活動(3) (対面)
第13回	グループごとの研究のまとめ、学修ポートフォリオについて(対面)
第14回	グループごとの研究のまとめ(2) (対面)
第15回	グループごとの研究の最終報告(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
	/First Semester	- IX 20) 101100	
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	20240581003041	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(経済) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藤田 泰昌/Taisuke Fujita		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	藤田 泰昌/Taisuke Fujita		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	藤田 泰昌/Taisuke Fujita		
	対義ゼンナー川 科日 対義ゼンナ	 ール科目,大学院科目[構造],自由	婴扣利用 / Flootive Courses
科目分類 / Course Category 対象年次 / Intended year	教養セミナール科目, 教養セミナ 1, 2, 3, 4	ール科白,人子院科日[構造],目田 講義形態 / Course style	選択科目 / Elective Courses 演習 / Seminar
刘家年次 / Intended year 教室 / Class room	1, 2, 3, 4 学部問い合わせのこと	時我//28 / COUTSE STYTE	次日 / SciiiIIIdI
<u> </u>	子部向い合わせのこと 経済学部1年生		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)			えてくださいい
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	, , ,	、、この回りのでは、 かんの (日の分)	,,
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階606研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自 己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力/Generic Competence 倫理観/Ethics 多様性の理解/Understanding Diversity 主体性/Autonomy 協働性/Cooperativeness 考えをやり取りする力/Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心/Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 vtilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 btudents' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される btudents' thinking other than the above		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加,情報の収集状況・分析など),プレゼンテーション(わかりやすい資料,話の構成,説得力など),レポート(構成,文章表現など)により総合的に評価し,最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【事前】指定された文献を読み込むことやグループワーク、研究発表に向けた準備(3h) 【事後】セミナーで考えたことの復習(1h)		
キーワード/Keywords	研究、討論、発表		
教科書・教材・参考書/Materials	開講時に指定します。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	tes		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) 備考/Remarks 学生へのメッセージ/Message for students	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
実務経験のある教員による授業科目であるか	N	
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	IN .	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教		
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)		
用)/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents	
第1回	オリエンテーション(対面) 第2回以降の授業計画はクラスごとに異なります。	
第2回	文献の読み方(1)(対面)	
第3回	文献の読み方(2)(対面)	
第4回	研究テーマ決定・グループ分け決定(対面)	
第5回	グループごとの活動(1):問いを考える(対面)	
第6回	図書館ガイダンス(対面)	
第7回	グループごとの活動(2):先行研究を確認する(対面)	
第8回	グループごとの活動(3): 仮説を考える(対面)	
第9回	グループごとの活動(4):検証方法を考える(対面)	
第10回	グループごとの研究の中間報告(対面)	
第11回	グループごとの活動(5):問い・仮説・検証方法を再検討する(対面)	
第12回	グループごとの活動(6):問い・仮説・検証方法を再検討する(対面)	
第13回	文章の書き方(1)、グループごとの活動(7) (対面)	
第14回	文章の書き方(2)、グループごとの活動(8) (対面)	
第15回	グループごとの研究の最終報告(対面)	

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期	 曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5	
	/First Semester	,, ,		
開講期間/Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		I	
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0	
時間割コード/Time schedule code	20240581003042	科目番号/Course code	05810030	
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEFY 15021_001			
授業科目名/Course title	初年次セミナー(経済) / Firs	t-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉沢 裕典/yoshizawa yasunori	吉沢 裕典/yoshizawa yasunori		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉沢 裕典/yoshizawa yasunori			
授業担当教員名(オムニバス科目等)	吉沢 裕典/yoshizawa yasunori			
/ Instructor(s)	 		選出利日 / Flootive Courses	
科目分類 / Course Category		ール科目,大学院科目[構造],自由:	選択科目 / Elective Courses 演習 / Seminar	
対象年次 / Intended year 教室 / Class room	1, 2, 3, 4	講義形態/Course style	澳百 / Seminar	
	学部問い合わせのこと 経済学部1年生			
対象学生(クラス等) /Intended year (class) 担当教員Eメールアドレス/E-mail address		/ II 左`头岸士?呶!+ _ 左@!- 黑土梅	ラブ光信してくださいゝ	
		ペールを送信する際は を®に置き換	ん(送信して、ださい)	
担当教員研究室/Office	経済学部本館5階 510号室			
担当教員TEL/Tel	極業物之後20八甲麻			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後30分程度	オス学羽からの転換を図り 大学に	おける主体的・総動的学習へ	
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。			
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自 己表現ができるようになる。			
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	Diversity 主体性/Autonomy 協働性/Cooperativeness 考えをやり取りする力/Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心/Interest in international / local society			
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers			
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加,情報の収集状況・分析など),プレゼンテーション(わかりやすい資料,話の構成,説得力など),レポート(構成,文章表現など)により総合的に評価し,最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。詳細は各クラスの担当教員の指示による。			
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照			
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【予習】報告者になっていない場合でも、テキストの指示された部分は演習前に必ず読んでおくこと。 また、報告者に質問する内容を事前に考えておくこと。 (1h) 【復習】テキストや報告者の作成したレジュメを見ながら、 演習内容を確認しておくこと。 わからない点はそのままにせず、 次回の演習時に質問すること。 (1h)			
キーワード/Keywords	大学での学習方法、論理学。			
教科書・教材・参考書/Materials	・戸田山 和久 (2012) 『新版 論文の教室 レポートから卒論まで』NHK 出版 ・戸田山 和久 (2000) 『論理学をつくる』名古屋大学出版会			
受講要件(履修条件)/Prerequisites	, 四四 157((2000) III) 建于 C	, 0° HH/E/\] H/MA		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp 原則、対面で行うことを予定しているが、状況によって変更することもある。その場合はEメールま
備考/Remarks	たはLACSで通知する. 「長大生のためのラーニングティップス」
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(対面) 第2回以降の授業計画はクラスごとに異なります。
第2回	図書館ガイダンス(対面)
第3回	E-メールの書き方(対面)
第4回	レポートの書き方についての輪読順序決定(対面)
第5回	輪読発表(1) (対面)
第6回	輪読発表(2)(対面)
第7回	輪読発表(3)(対面)
第8回	輪読発表(4)(対面)
第9回	論理学演習について(対面)
第10回	論理学演習(1)(対面)
第11回	論理学演習(2)(対面)
第12回	論理学演習(3)(対面)
第13回	論理学演習(4)(対面)
第14回	論理学演習(5)(対面)
第15回	論理学演習(6)(対面)

学期 / Semester	2024年度/Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間/Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	20240581003043	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(経済) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	原 由紀恵 / Hara Yukie		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	原 由紀恵/Hara Yukie		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	原 由紀恵/Hara Yukie		
科目分類 / Course Category	 数春ゼミナール科目 数春ゼミナ		選択科目 / Flective Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと	mission in the second s	DCI / COMMISS
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			臭えてください)
担当教員研究室/Office	経済学部 本館 509	、、CEII) OMIG CECECI	A.C.C.VICCVI)
担当教員TEL/Tel	海上的 本品 303		
担当教員オフィスアワー/Office hours	カミナー後の時間 マけメールで		
正		プルイントスクトを取りてください する学習からの転換を図り、大学に	
	のオリエンテーション機能を果た		のける工体的、配動的子目へ
極米の梅毒刀が大星では / 0	のオウエファーフョン機能を来たすとこを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなど		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	を通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。		
	また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グル		
	ープ作りに役立てることも狙いとしている。 		
	論理的・批判的に物事を考えることができる。 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。		
授業到達目標/Course goals		めたることがてさる。 ション、レポートなどの基本的学習	技能を身につけ、効果的な自
	己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲	汎用的能力/Generic Competen	ce 倫理観/Ethics 多様性の	理解 / Understanding
しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than		は 協働性/Cooperativeness 考	_
knowledge and skills acquired mainly through	1	或社会への関心/Interest in inter	-
the course (pick 1 to 3)	A 授業内容の理解度を確認した		Activities to shock the
	degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over		
	various perspectives		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching	C.技能修得のために実践する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills		
method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 detivities that comprehensively		
	utilize knowledge to solve problems		
	E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above		
	F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
		方やディスカッション(初年次セミナ	
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	•	ーション(わかりやすい資料,話の構	
The state of the s	·	評価し,最終的な成績評価は「合」	「否」の2段階とする。詳細は
冬回の哲業内容・哲業大法/学羽也満大法》/2	各クラスの担当教員の指示による 	0	
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
5	・次回のクラス活動時間を有効に		表等の準備や課題に取り組む
車前 車後学修の中容/Proporation ® Pavious	(2h)		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review		って良い点、改善点を確認し、良い	点を継続して改善点を修正す
	るように努める (2h)		
キーワード/Keywords	At least 1 N True to the state of the state		
教科書・教材・参考書/Materials	特になし。必要に応じて指示します。 		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) 備考/Remarks	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
The Systematical	大学生活 (とその先)を実り多く円滑に進められるように、主体的な学びと必要スキルをともに学		
学生へのメッセージ/Message for students	ス字生活(とその先)を美り多く円滑に進められるように、主体的な字ひと必要スキルをともに字 んでいきます。ポイントを絞ってサポートします。一緒に頑張りましょう! 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/		
実務経験のある教員による授業科目であるか	N		
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教 育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使 用)/Name / Details of practical experience / Contents of course			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション(対面)		
₩ 0.□	研究テーマに関する討議・決定		
第2回	図書館ガイダンス(対面)		
第3回	研究テーマに関する討議・決定 図書館ガイダンス (対面)		
第4回	研究テーマに関する討議・決定		
(차 대 대 대 대 대 대 대 대 대 대 대 대 대 대 대 대 대 대 대	図書館ガイダンス(対面)		
第5回	レポートの書き方 アウトラインの作り方 グループごとの活動 グループごとの研究の中間報告・改善(対面) レポートの書き方		
第6回	アウトラインの作り方 グループごとの活動 グループごとの研究の中間報告・改善 (対面) レポートの書き方		
第7回	アウトラインの作り方 グループごとの活動 グループごとの研究の中間報告・改善 (対面) レポートの書き方		
第8回	アウトラインの作り方 グループごとの活動 グループごとの研究の中間報告・改善(対面) レポートの書き方		
第9回	アウトラインの作り方 グループごとの活動 グループごとの研究の中間報告・改善 (対面)		
第10回	プレゼンテーションの行い方 グループごとの活動 グループごとの研究の報告・改善(対面)		
第11回	プレゼンテーションの行い方 グループごとの活動 グループごとの研究の報告・改善 (対面)		
第12回	プレゼンテーションの行い方 グループごとの活動 グループごとの研究の報告・改善(対面)		
第13回	プレゼンテーションの行い方 グループごとの活動 グループごとの研究の報告・改善(対面)		

第14回	プレゼンテーションの行い方
	グループごとの活動
	グループごとの研究の報告・改善(対面)
第15回	グループごとの研究の最終報告(対面)